

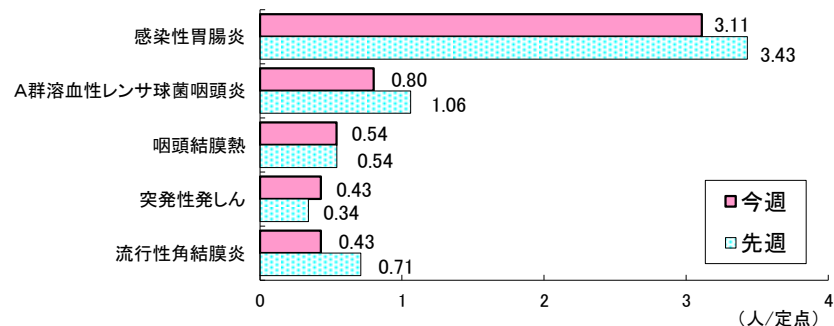


### 【第26週の発生動向】

#### < 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、秋田市、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で25%減少しています。保健所別では、由利本荘、湯沢で増加、秋田市、大館、能代、秋田中央、大仙、横手で減少しています。
3. 咽頭結膜熱は、県全体で同規模です。保健所別では、大館、由利本荘、大仙で増加、秋田市、北秋田、秋田中央、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



### 発生報告

#### < 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県																																
	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢					
	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.09		0.14	0.14											0.50	0.25	↘		0.25	↗												
インフルエンザ	0.02		↘																									0.20		↘			
咽頭結膜熱	0.54	0.54		0.86	0.71	↘	0.75	1.50	↗	0.50		↘				0.50		↘	0.50	0.75	↗		0.75	↗				0.33		↘	0.25	0.75	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	0.80	↘	2.00	1.57	↘	0.50		↘				1.00		↘	3.00	2.50	↘		0.25	↗	1.00	0.75	↘	0.33		↘	0.25	0.75	↗			
感染性胃腸炎	3.43	3.11	↘	3.29	3.71	↗	7.50	4.50	↘	6.50	4.50	↘	5.33	4.67	↘	1.75	1.25	↘	1.50	0.50	↘	0.25	0.75	↗	2.67	2.00	↘	4.00	6.50	↗			
水痘	0.26	0.29	↗	0.14	0.14		0.75	0.25	↘	1.00		↘	0.33		↘		1.00	↗				0.25		↘	0.33		↘		1.00	↗			
手足口病	0.03	0.03			0.14	↗													0.25		↘												
伝染性紅斑	0.03	0.03																				0.25		↘		0.33	↗						
突発性発しん	0.34	0.43	↗	1.14	0.29	↘	0.50	1.00	↗	1.00	1.00			0.33	↗					0.50	↗		0.25	↗		0.33	↗		0.50	↗			
ヘルパンギーナ	0.03	0.09	↗								1.00	↗													0.33	0.33							
流行性耳下腺炎	0.03	0.14	↗					0.75	↗													0.25	0.50	↗									
川崎病																																	
急性出血性結膜炎	0.29		↘							*	*		*	*		*	*								2.00		↘	*	*				
流行性角結膜炎	0.71	0.43	↘	0.33	0.33					*	*		*	*		*	*								4.00	2.00	↘	*	*				
細菌性髄膜炎	0.13	0.13														*	*		1.00	↗		1.00		↘									
無菌性髄膜炎																*	*																
マイコプラズマ肺炎	1.00	1.75	↗		2.00	↗				5.00	4.00	↘				*	*		1.00	↗		1.00	1.00					2.00	6.00	↗			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*																
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.50	0.63	↗	1.00		↘	1.00	1.00								*	*								2.00		↘		4.00	↗			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の急性脳炎が湯沢保健所管内から1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が湯沢保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-25週		26週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10009	55	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
三類	コレラ		2	
	細菌性赤痢	88		
	腸管出血性大腸菌感染症	905	2	1
	腸チフス	18		
	バラチフス	10		
四類	E型肝炎	195		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	450		
	エキノкокクス症	6		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	35		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎	1		
	炭疽			

類型	疾患名	1週-25週		26週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	86	2	
	デング熱	61		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	75		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	フルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	3		
	マラリア	23		
野兔病				
ライム病				
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	720	1		
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	383		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	95	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	780	4	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	10		
	急性脳炎	365	4	1
	クリプトスポリジウム症	10		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	101	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	372	4	1
	後天性免疫不全症候群	596		
	ジアルジア症	38		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	239	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	19		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1957	11	
	水痘(入院例に限る。)	202	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	3086	3	
	播種性クリプトкокクス症	83		
	破傷風	45		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	25		
百日咳	2538	17	1	
風しん	39			
麻しん	170			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			

トピックス

<細菌による夏季の感染性胃腸炎に注意しましょう>

夏季の感染性胃腸炎の原因となる病原体は、冬季に流行するノロウイルスなどのウイルスに代わり、カンピロバクター、サルモネラ、エルシニアといった細菌が多くなる傾向にあります。県健康環境センターの調査においても、夏季にはこれらの細菌の検出報告が増加しています(図)。

■主な症状・感染経路

細菌による感染性胃腸炎の主な症状は、腹痛や下痢です。発熱を伴うことが多く、菌によっては血便を呈するなど重症化する場合があります。

原因となる細菌は、牛や豚などの家畜や家禽、野鳥などの野生動物の腸管内に生息しており、多くの場合、菌が付着した食肉や汚染された水を摂取することにより感染します。

■予防のポイント

1) 手洗いの徹底

トイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗いましょう。また、動物を触った後や野外での活動後も、十分に手を洗うようにしましょう。

2) 低温管理

気温が高いと細菌が食品中で増殖しやすくなります。買ってきた食品はすぐに冷蔵庫に入れるよう心掛けましょう。

3) 調理器具等の消毒

肉を焼く時に使用する箸やトングには、つまんだ生肉から細菌がついてしまいます。食器用の食器類とは別に用意しましょう。また、生肉を扱ったまな板、包丁等は熱湯などにより十分消毒しましょう。

4) 加熱調理等の徹底

ほとんどの細菌は熱に弱いため、肉や魚を調理する際は中心まで熱が伝わるように十分に加熱しましょう。生で食べる野菜類はよく水洗いしてから食べるようにしましょう。また、井戸水や野外で湧水や沢水を利用する場合は、飲用できるか確認してから使用しましょう。

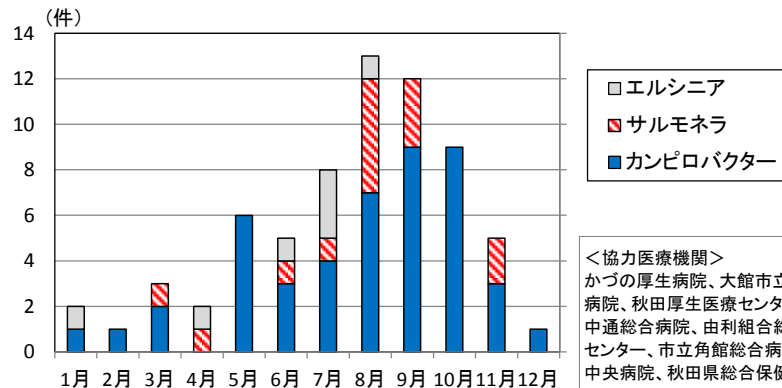


図: 健康環境センターにおけるカンピロバクター等の検出報告数(平成29年)

<協力医療機関>  
かづの厚生病院、大館市立総合病院、北秋田市民病院、秋田厚生医療センター、市立秋田総合病院、中通総合病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、市立角館総合病院、平鹿総合病院、雄勝中央病院、秋田県総合保健事業団



感染性胃腸炎情報

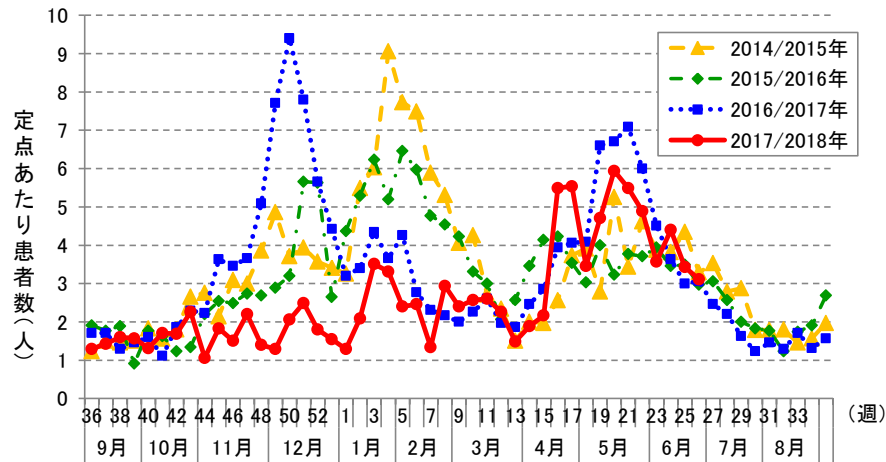


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

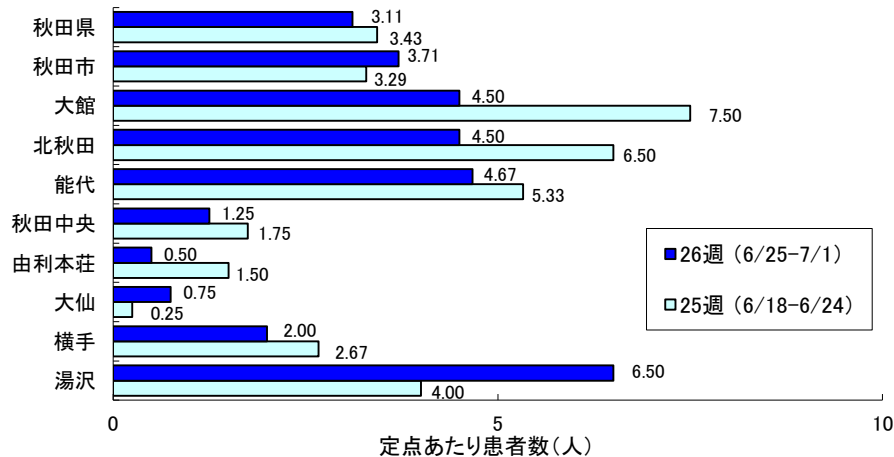


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

**No. 23**  
 発生届出日 平成30年7月4日  
 受付保健所 大館保健所  
 施設名称 杉の下保育園  
 有症者数 園児25名のうち14名  
 職員11名のうち1名 計15名  
 把握期間 6月24日から7月4日まで  
 症状 嘔吐、下痢

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 23施設 発症者 352名  
 <保育所・幼稚園 23>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名  
 <社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 34>

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

感染症の集団発生報告

水痘による集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年7月2日  
 受付保健所 秋田市保健所  
 施設名称 秋田市立旭川小学校  
 有症者数 児童539名のうち19名  
 把握期間 6月1日から7月2日まで

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年7月3日  
 受付保健所 大館保健所  
 施設名称 大館乳児保育園  
 有症者数 園児65名のうち10名  
 把握期間 6月18日から7月3日まで  
 症状 発熱  
 検査状況 9名からアデノウイルスを検出



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		